

表紙裏 『むすび』の原理（新しき世界へ 1971年3月号）

桜沢如一

今や知識は科学によって空前に発達しました。技術も真剣な克明な西洋の人々によって空前に発達しました。哲学や宗教はアジアやギリシャの偉大なる聖者賢人によって遠き昔に創められ二千年来益々荘厳にされています。これら三大発電所から強力な電気が地球の至るところに引かれ、至るところで混線し、接触し、あわや地球の大火事をひき起こしかけているのです。今こそ「むすび」の原理が初めてその姿を現わす時です。「むすび」の原理は、あらゆる知識、概念、技術、哲学、宗教の電線を巧みにむすび合せて、人類最高の、そして空前絶後の「まこと」と云う文化を輝き出させるあらゆる種類、あらゆる程度の光と熱とエネルギー（知・情・意）を全人類に供給する変電所となるでしょう。それは多を一とするものです。統一こそ、永遠なる唯一の「真理」であり無双の原理でしょう。

（「中国四千年史」より）

本文の複写、複製、転載、その他いかなる方法による使用の際には日本 CI 協会にご相談ください